

愛知県がんセンター

がんセンター

NEWS Aichi Cancer Center
NEWS

2024年
5月
vol.88

発行 愛知県がんセンター Tel. 052-762-6111(代)

今号のニュース **MDアンダーソンがんセンターとの
「共同研究」「人材交流」「シンポジウム」(2ページ)**

プラグマティック第Ⅲ相試験を開始(2ページ)

新任医師のご紹介(3ページ)

上田元研究所化学療法部長 日本学士院賞受賞(3ページ)

病院トピックス **精神腫瘍科部長 小森 康永
精神腫瘍医、がん医療における情動を探究(4ページ)**

研究所トピックス **腫瘍制御学分野長 小根山 千歳
細胞外小胞の制御によるがん治療を目指して(5ページ)**



【栄養管理部おすすめメニュー】
腸活!サラダそば(4ページ)

【イベント・講座インフォメーション】
愛知県がんセンター公開講座年間スケジュール(7ページ)
第20回中部地区がん医療連携学術講演会の報告(7ページ)
第43回日本癌学会市民公開講座の告知(7ページ)

【シリーズ:とよろく医探訪】No.31
泌尿器科・内科・皮膚科・美容皮膚科
いだか台クリニック
院長:遠山 道宣 先生(6ページ)

MDアンダーソンがんセンターとの 「共同研究」「人材交流」 「シンポジウム」

運用部 経営戦略課 企画・経営グループ 嶋本 健也

愛知県がんセンターは、世界最高峰のがん研究・治療の拠点とされている米テキサス大学MDアンダーソンがんセンターとの連携について、以下のような事業を実施いたします。

「共同研究」:研究期間が3年の共同研究を3件実施する予定です。

「人材交流」:世界最先端のがん医療と、高度な医療を効率よく提供する画期的なチーム医療を学ぶために、3か月ごとに2名ずつ、年間で延べ8名の医師・薬剤師・看護師等の医療従事者を派遣する予定です。

「シンポジウム」:愛知県がんセンター60周年記念事業として、MDアンダーソンがんセンターから研究者を3名ほど招聘し、愛知県がんセンター職員と合同シンポジウムを開催予定です。

また、3月9日には、MDアンダーソンがんセンターとの第1回合同シンポジウムをWeb開催し、「上部消化器がん(胃、肝胆膵)」をテーマとした基調講演や意見交換などを行いました。

今後も、MDアンダーソンがんセンターとより強固な協力関係を構築することで、世界に発信できる医療・研究を推進してまいります。




プラグマティック第Ⅲ相試験を開始

薬物療法部 医長 谷口 浩也

薬物療法部と臨床試験部は、抗がん薬(ロンサーフ)の副作用が少なく簡便な服用法を確立する第Ⅲ相試験(PRABITAS試験)を開始しました。新しい臨床試験手法であるプラグマティック試験を本邦で初めて採用し、参加者基準や治療規定を最小限に抑え、実際の診療に近い条件で効率的な試験を実現しました。全国250施設から890人が参加する見込みです。



消化器内科部 医長
孝田 博輝 Hiroki Koda



患者さんの期待を裏切らない丁寧な診療に努めさせていただきます。

経歴 久留米大学卒、鳥取大学医学部附属病院、鳥取県立中央病院、山陰労災病院

専門分野 消化器内科(胆胰領域)

専門医等資格等
内科認定医、消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医、肝臓学会専門医、膵臓学会指導医、胆道学会指導医

頭頸部外科部 医長
小林 義明 Yoshiaki Kobayashi



患者さん、ご家族にとって最善の医療を提供できるように努めます。

経歴 金沢医科大学卒、愛知県がんセンター、浅ノ川総合病院、金沢医科大学病院

専門分野 頭頸部外科

専門医等資格等
耳鼻咽喉科専門医

形成外科部 医長
大島 希実子 Kimiko Oshima



患者さんのQOL向上の一助となれるよう、鋭意努力いたします。

経歴 岐阜大学卒、豊橋市民病院、豊田厚生病院、小牧市民病院、岐阜大学医学部附属病院、岐阜県立多治見病院

専門分野 形成外科

専門医等資格等
機構認定形成外科専門医、再建・マイクロサージャリー分野指導医、皮膚腫瘍外科分野指導医

形成外科部 医長
丹羽 準也 Junya Niwa



皆様が前を向いて日々を送るお手伝いができるよう努めます。

経歴
帝京大学卒、帝京大学溝口病院、東北大学病院、宮城県立こども病院、山形県立新庄病院、東北医科薬科大学病院

専門分野 形成外科

専門医等資格等
形成外科専門医

血液・細胞療法部 医長
萩原 真也 Shinya Hagiwara



それぞれの患者様にあった血液腫瘍治療を提案いたします。

経歴
名古屋市立大学卒、名古屋市立大学病院、豊川市民病院

専門分野 血液

専門医等資格等
内科認定医、血液専門医

泌尿器科部 専門員
茂井 亮太 Ryota Ikadai



皆様により良い医療を提供させていただけるよう、連携病院とともに尽力いたします。

経歴
三重大学卒、三重県立総合医療センター、三重中央医療センター、三重大学医学部附属病院

専門分野 泌尿器科

専門医等資格等

婦人科部 医長
北見 和久 Kazuhisa Kitami



進行卵巣癌に対する手術を得意としています。お気軽にご相談ください。

経歴
名古屋大学卒、豊橋市民病院、岐阜県立多治見病院、名古屋大学医学部附属病院、北里大学病院

専門分野 婦人科悪性腫瘍

専門医等資格等
産婦人科専門医、婦人科腫瘍専門医
日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医

上田元研究所化学療法部長 日本学士院賞受賞

上田龍三元研究所化学療法部長が、日本学士院賞を受賞しました。日本学士院賞は、明治43年に創設された、学術上特に優れた論文・著書や研究実績に対して授賞されるものです。研究題目「成人T細胞白血病・リンパ腫に対する抗体医薬開発のトランスレーショナル・リサーチ」が、抗体作製、前臨床研究、治験、薬事承認、コンパニオン診断薬開発に至る産学共同研究の新しい方向性を示したことが、受賞につながりました。



精神腫瘍医、がん医療における情動を探究



精神腫瘍科部長 小森 康永

みなさんは、「情動」と「感情」の違いについて考えたことはありますか？私は精神科医でありながら、2022年の7月28日まで、この二つの言葉について思いを巡らせたことさえありませんでした。それでよくがん患者さんの心をケアするなどと言っていたかと赤面至極であります。

あの夏の暑い日に私は三人の男性患者さんたちに立て続けに泣かれ、(感情ではなく)情動というもの、その対応の大切さを知りました。情動とは、衝撃を受けて身体に影響を感じているものの、まだ意識の中で固定されておらず、言葉になってもおらず、社会的慣習や文化によって構造化されてはじめて感情として表現されるものです。がん医療での卑近な例を上げるなら、がんと診断されて頭が真っ白になった状態、あるいは涙が流れていてもそれを例えば悲しみと判断できない状態のことです。

実は、神経科学(ニューロサイエンス)の最先端では、皮質下と呼ばれる脳の部分、つまり情動・感情に注目が集まっていますし、社会学でも情動がどのように感情へと移行しそれがいかに治療やケアにおいて重要な局面になるかが論じられるようになってきました。身体との関連も重要視され、これまでの大脳皮質偏重主義が反省されています。認知と行動、それらは研究しやすい対象・領域であったかもしれませんが、それが重要な場所とは限らないということになりそうです。

では、まず何をしたら良いのか？涙を流している人を目の前にしたら、無心に問いかけてみることです。「もしもその涙が話せるとしたら、何を言うでしょう？」ちょっと照れ臭いですが？

情動とナラティブ

Narrative and Affect

身体に根差した 会話を もとめて

小森康永
D. デンボロウ
岸本寛史
安達映子
森岡正芳

コミュニティ・ワーカー、緩和医療の専門家、ソーシャルワーク実践者、心理学者らの論者が照らし出す

「ナラティブ・セラピーは」

〈ナラティブ情動実践〉のかたちとは？

神経科学とどのように関係しているのか？感情とのつながり、関わっているのか？情動的な転回(トイロ)の瞬間に身体はどのように関わっているのか？

北大路書房

栄養管理部おすすめメニュー

調理師：原 邦彦 管理栄養士：嘉津山 瑞恵

「腸活!サラダそば」



材料(4人前)

- ★そば 2束(180g)
- ★水菜 1/2束
- ★ツナ缶 1缶
- ★いりごま 少々
- ★オリーブオイル 大さじ2
- ★塩 小さじ1/5
- ～おろしヨーグルトソース～
- ★大根 200g
- ★プレーンヨーグルト 100g
- ★青じそ 5枚
- ★おろししょうが 小さじ1
- ★しょうゆ 小さじ2
- ★ねり梅 小さじ1

作り方

- ① 水菜は4cmに切り、軽く水につけた後、水気をしっかり切る。
- ② おろしヨーグルトソースは、大根をすりおろして汁気を切り、青じそを5mmくらいの粗みじん切りにし、残りのソースの材料すべてとまぜ合わせておく。
- ③ そばを茹でてざるに上げ、冷水でよく洗ってから水気をしっかり切る。
- ④ ボウルに③と①、油を切ったツナ缶、いりごま、オリーブオイル、塩を入れ、和える。
- ⑤ 器に盛り、おろしヨーグルトソースをかけて完成。

そばは食物繊維が豊富です。ヨーグルトなどの発酵食品を組み合わせることで腸活になります。意外な組み合わせと思われるかもしれませんが、手軽に魚と野菜も摂ることができ、さっぱり食べられます。ぜひ作ってみて下さい。





細胞外小胞の制御による がん治療を目指して

腫瘍制御学分野長
小根山 千歳



私たちの体の細胞は、様々な伝達物質が詰まった「細胞外小胞 (EV)」と呼ばれる小さなカプセルのようなものを放出し、他の細胞と情報のやり取りを行っています。EVを受け取った細胞は、それに含まれる伝達物質に応じて、その振る舞いを調整します。がん細胞が放出するEVは、その数も多く、さらに中身の物質も変化していることがわかってきました。つまり、がん細胞はEVを使って、自身が生き延びやすい環境を作っているのです(図1)。しかし、がん細胞がどのようにEVの量や中身を変化させてい

るのかはあまりわかっていません。私たちは、がん細胞で活性化しているSrcという分子が、EVに取り込まれるとともに、その形成や分泌を促進していることを見つけました(図2)。また、EVの分泌量を簡便に計測したり、体の中で集まっている場所を可視化する方法を開発しました。その手法を応用し、EVの産生を抑制する阻害剤を見出しました(図3)。がん細胞でEVの量や中身の物質が変化するメカニズムを明らかにすることで、新たながん治療・予防の開発につなげたいと考えています。

図1

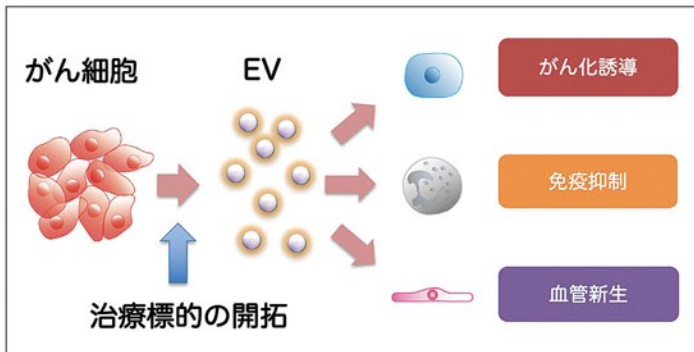


図1: EVとがん進展

図2 正常細胞



図2: Srcがん化細胞でEV分泌量が増えている様子

図3

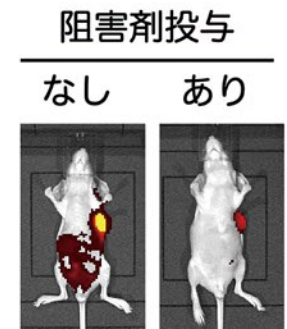


図3: 阻害剤によってEV分泌が抑制された様子

愛知県がんセンターへの 寄附金についてのお知らせ

愛知県がんセンターでは、医療体制の充実や研究促進のため、寄附金の受け入れをしております。いただきました寄附金につきましては、がんセンターの医療・研究機器や設備の充実、がん克服に向けた研究推進などに使用いたします。皆さまのご理解、ご厚志をお寄せいただきますようお願いいたします。
 ※2024年2月より、クレジットカードによりご寄附いただくことも可能になりました。

寄附・アンケートについてのお問い合わせ先

愛知県がんセンター運用部経営戦略課企画・経営グループ

〒464-8681名古屋千種区鹿子殿1番1号
 電話/052-762-6111(代)
 FAX/052-764-2963
 メール/kihukin@aichi-cc.jp

スマートフォンの方は
▼こちらから▼



アンケートのお願い

がんセンターNEWSの誌面を魅力的なものにするにあたり、皆様の貴重なご意見を参考にしたいという考えから、読者アンケートを実施することになりました。

たいへんお忙しいところ誠に恐縮ではございますが、皆様からのご回答を、心よりお待ち申し上げます。

アンケートの回答はこちらから

※アンケートは5分程度でお答えいただけます。
 ※アンケートの締切は、6月30日(日)までとなります。



▼▼▼PCの方はこちらから▼▼▼
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/ques/questionnaire.php?openid=34>



スマートフォンの方は
▼こちらから▼





いadakadaiクリニック 院長:遠山 道宣 先生

いadakadaiクリニックは名東区猪高台にあり、駐車場は17台完備しております。泌尿器科専門医として、排尿障害はもとより、膀胱癌の術後の再発管理や前立腺癌治療などの癌に対する治療もしておりますので、愛知県がんセンター泌尿器科の先生方と前立腺癌術後の患者さんの病診連携もさせていただいており、当院での検査データが、次回がんセンターに受診したときにわかるようになっているため、患者さんも安心して、術後でも当院にかかることができる体制となっております。また、泌尿器科と皮膚科の境界があいまいな病気も多々存在するため、皮膚科も対応しており、毎週土曜日は泌尿器科癌のスペシャリストが、また、第1・3月曜日の午前中は女性泌尿器科のスペシャリストが在院しますので、その日は2人体制で泌尿器科疾患を診ております。

がんセンターの泌尿器科は、増員されたため、これまで以上に中部地方の癌医療の中心的施設に発展されていくことが容易に想像できますが、地域連携も大切にいただいていることに恐縮しつつも、当院や紹介させていただいた患者さんにとって、心強いものと感じております。これからも地域医療に貢献できるように邁進してまいります。皆様のご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



医療機関情報



泌尿器科・内科・
皮膚科・美容皮膚科

いadakadaiクリニック



診療科目 泌尿器科・内科・皮膚科・美容皮膚科

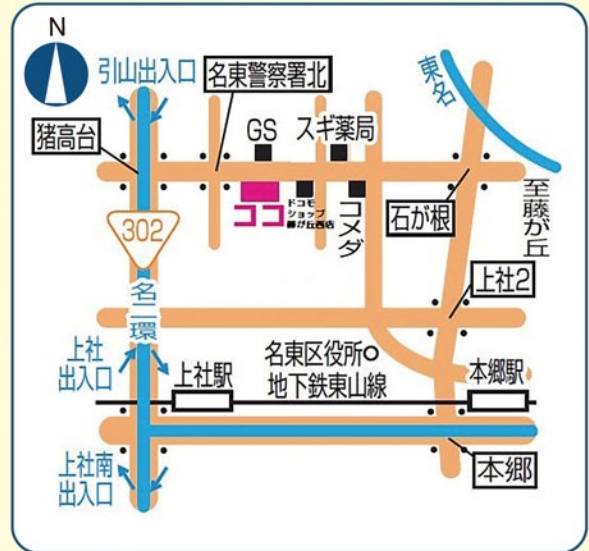
電話 052-760-0701

所在地 〒465-0028
愛知県名古屋市名東区猪高台2-410-2

ホームページ <https://idakadai-clinic.com/>

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日・祝 |
|-------------|---|---|---|---|---|---|-----|
| 9:00~12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | / |
| 16:00~19:00 | ● | ● | ● | / | ● | / | / |

●診療日 / 休診日



地下鉄上社駅から北へ約1km
国道302号線「猪高台」交差点から東へ約300m

編集 後記

第31回は名東区猪高台にある、いadakadaiクリニック、遠山道宣先生です。猪子石第77号線を長久手方面へ走ると、モダンな外観と青々とした植栽、広い駐車場が右手に見えてきます。地域の方が、相談しやすい、通いやすいクリニックを目指し開業され、今年で20年になるそうです。分かりやすいホームページ、特にご専門である泌尿器の、症状別コンテンツは必見です。これからもよろしくお願いいたします。y.sano



令和6年度 愛知県がんセンター公開講座(オンデマンド配信)

| 回 | 配信・申込期間 | テーマ | 講演者 |
|---|---|---|---|
| 1 | R6.5.24(金)正午～ R6.6.10(月)正午まで | 第1回「血液がん治療最前線」 1.白血病 2.悪性リンパ腫 3.多発性骨髄腫 | 司会 血液・細胞療法部長 楠本 茂 1.血液・細胞療法部 川口 裕佳医長 2.血液・細胞療法部 齋藤 統子医長 3.血液・細胞療法部 萩原 真也医長 |
| 2 | R6.7.19(金)正午～ R6.8.5(月)正午まで | 第2回「女性に多いがんの最新治療」 1.乳がん薬物療法のトレンド 2.乳がん局所療法のトレンド 3.遺伝性乳がん治療のトレンド 4.婦人科がん治療Up-to-Date | 司会 乳腺科部長 原文 文堅 1.乳腺科部 原文 文堅部長 2.乳腺科部 小谷 はるる医長 3.乳腺科部 吉村 章代医長 4.婦人科部 北見 和久医長 |
| 3 | R6.9.13(金)正午～ R6.9.30(月)正午まで (R6.9.8オンサイト開催 したものを配信) | 第3回「若き未来の医学研究者たちへ:未来の医学に挑むがん 研究者からのメッセージ」 第1部 1.がんの予防法のエビデンスはどうやって作られているのか 2.がんの診断法のエビデンスはどうやって作られているのか 3.がんの治療法のエビデンスはどうやって作られているのか 第2部 医学研究者への様々なキャリアパス 開催日時:R6.9.8(日)14:00～16:30 開催場所:愛知県がんセンター 対象者:医学研究者や医師をめざす中・高生(ご両親などご家族 での参加も可) ※事前申込制先着150名 | 第1部 1.がん予防研究分野 松尾 恵太郎分野長 2.分子診断TR分野 田口 歩分野長 3.がん標的治療TR分野 衣斐 寛倫分野長 第2部 研究所若手研究者3～4名(未定) |
| 4 | R6.11.8(金)正午～ R6.11.25(月)正午まで | 第4回「膵がんの最新治療」 1.膵がん総論 2.膵がんの診断法 3.膵がんの外科治療 4.膵がんの内科治療について | 司会 副院長兼消化器外科部長 清水 泰博 1.消化器内科部 原 和生部長 2.消化器内科部 羽場 真医長 3.消化器外科部 浅野 智成医長 4.消化器内科部 桑原 崇通医長 |
| 5 | R7.2.7(金)正午～ R7.2.25(火)正午まで | 第5回「がん臨床試験について学ぼう」 1.希少がんについて 2.がんの臨床試験について 3.臨床試験の新しい形について(リモート治験、プラグマティック試験) | 司会 臨床試験部長 安藤 正志 1.薬物療法部 本多 和典医長 2.臨床試験部 安藤 正志部長 3.薬物療法部 谷口 浩也医長 |

◇視聴料:無料(ただし、通信料は自己負担願います。) ◇視聴方法:事前申込が必要

※事前に愛知県がんセンターweb公開講座ページにある事前申し込みフォームよりお申し込みください。YouTubeによるオンデマンド配信です。
事前申し込みの方には、視聴するためのURLをメールにてお送りします。都合により予告なく中止、公演内容等の変更をすることがあります。

◇視聴対象者:どなたでも事前申し込みのうえ、視聴できます。なお、視聴するためのインターネット環境が必要です。

第20回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました

医事グループ 村井 美月

3月2日(土)、メルパルク名古屋において、近隣の医師会、歯科医師会、薬剤師会のご協力のもと、第20回中部地区がん医療連携学術講演会を開催しました。当日は、132名もの先生方にご参加いただき、ありがとうございました。

次回は、令和6年7月27日(土)午後4時からメルパルク名古屋にて開催予定です。



特別講演の様子
(演者:灰本クリニック 灰本 元 先生)

第43回日本癌学会市民公開講座開催のお知らせ

テーマ:「がんの予防と治療を究める:研究から実践へ」

日時:2024年6月23日(日)13:30-16:00
場所:愛知芸術文化センター(地下鉄「栄」、名鉄「栄町」駅下車すぐ)(ハイブリット開催)参加無料
(事前申込制: https://fofa.jp/cs_oto/a.p/455/)
ですので、是非ご参加ください。

詳細はこちら:https://www.cancer.or.jp/modules/public/index.php?content_id=62


申込フォームはこちらから▶▶▶



公開講座の問い合わせ先

〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号
愛知県がんセンター運用部経営戦略課 公開講座係
TEL:052-762-6111(内線2511・2521)
FAX:072-764-2963
愛知県がんセンター web ページ(公開講座)
<https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder6/3975.html>



| 医療連携のご案内 | | 寄附のお願い |
|----------|---|--|
| 対応時間 | 月曜日～金曜日 午前9時00分～午後7時00分 土曜日 午前9時00分～午後1時00分 (祝日、年末年始を除く) | 詳細はホームページの「寄附のお願い」をご覧ください スマートフォンの方はこちらから  PCの方はこちらから https://cancer-c.pref.aichi.jp/site/folder17/ |
| 電話 | 052-764-9892 (直通) | |
| FAX | 052-764-9897 (24時間稼働しております。) | |
| ホームページ | https://cancer-c.pref.aichi.jp 「医療関係者の方へ」-「医療連携」をクリックしてください。 | |

外来診療担当表


| 受付時間 | 午前8時30分から午前11時30分 (都合により診察医の変更あるいは休診の場合があります) | | | | | |
|---|---|---|-------------------------------------|---|---|--|
| 休診日 | 土、日、祝日、年末年始 | | | | | |
| ※(SO)はセカンドオピニオン診療だけの場合に表します。 ※(初)-(初診)・(再)-(再診)・(非)-(非常勤) 2024年5月1日 | | | | | | |
| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
| 総合初診 | 稲葉 | 原 | 室 | 堀尾 | 田近 | |
| 消化器内科 | 原(初) 田中(初) 奥野 田近(SO) | 原 田近 山田(初) 桑原 | 原 羽場 田近(SO) 孝田 伊藤 | 丹羽(初) 水野 奥野 田中 伊藤<午前>(初) 孝田 | 田近(初) 水野 山田(初) 桑原 羽場 田中/山田<午後>(SO) | |
| 呼吸器内科 | 渡辺(初) 山口(再) 堀尾(再) 清水(淳)(再) | 藤原(初) 渡辺(再) 松澤(初) | 清水(淳)(初) 藤原(初) 松澤(再) 山口(再) | 山口(初) 堀尾(再) 清水(淳)(再) 渡辺(再) | 堀尾(初) 山口(再) 藤原(初) 松澤(再) | |
| 循環器科 | 木村 | 佐藤 | | 木村 | | |
| 血液・細胞療法 | 川口(初・再) 萩原(再) | 鏡味(初・再隔週) 山本(一)(初・再) 楠本(初・再) 森島(SO)(非) 大野(非) | 川口(再) 齋藤(初・再) 森島(SO)(非) 大野(非) | 楠本(初・再) 齋藤(再) 大野(非) | 楠本(再) 萩原(初)(再) | |
| 薬物療法 | 安藤(初) 室(初)<午後> 舛石(初) | 門脇(初) 谷口(初) 本多(初)<午後> | 室(初) 本多 成田(初) | 谷口(初) 門脇<午後> 舛石(初) | 安藤(初) 門脇(初) 谷口(初)<午後> 成田(初) | |
| 頭頸部外科 | 花井(再) 寺田(第1・3・5週)(再) 別府<午前>(初・SO) | 鈴木(再) 西川(第1・3・5週) <午前>(再) 別府<午前>(第2・4週)(再) 寺田<午前>(初・SO) | 花井<午前>(初・SO) 小林(再) | 花井<午前>(第2・4週)(再) 寺田<午後>(第2・4週)(再) 寺田(第1・3・5週)(再) 西川(再) 鈴木<午前>(初・SO) | 別府(再) 小林<午前>(第1・3・5週) (再) 鈴木<午前>(第2・4週)(再) 西川<午後>(初・SO) | |
| 形成外科 | 高成/鍋谷 奥村 | 高成 奥村 大島 | 高成(第1・2・3・5週) 大島 鍋谷 | 高成 奥村 大島 | | |
| 呼吸器外科 | 則竹(初・再) | 松井(初・再) | 坂倉(初・再) | 岩清水・坂倉<午前>(初・再) | 瀬戸(初・再) | |
| 乳腺科 | 片岡(再) 小谷/遠藤(初) 澤木(再) | 吉村/片岡(初) 服部(再) 原(再) | 小谷(再) 服部(初) 吉村(再) | 小谷(再) 能澤(再) 安藤(再) 澤木(正)(再) | 服部(再) 澤木(初) 吉村(再) 片岡(再) | |
| 消化器外科 | 榎垣<午前> 安部 伊藤(誠)(第1・3・5週) 三澤(第2・4週) 木下(敬)(第1,3,5) | 三澤 木下(敬) 奥野(正) | 小森(康司) 伊藤(友) 清水(泰) | 夏目 伊藤(誠) 大内 安部 | 佐藤 安部<午後>(SO) 浅野(初) 藤枝 | |
| 整形外科・サルコマセンター外来 | 濱田(初) 筑紫(初) 吉田(雅)(初) | 筑紫(初) | 吉田(雅)(初) | | 濱田(初) | |
| 脳神経外科 | 灰本<午後> | | 大野 | 灰本 | 大野 | |
| 泌尿器科 | 小島(初) 加藤 茂井 | | 小島 加藤(初) 北野 | 担当医(初) | 北野(初) 加藤 茂井(初) | |
| 婦人科 | 森(初) | 鈴木(初) 渡邊 北見(初) | 安井(初) 北見(初) | 鈴木(第1・3・5週)(初) 森(第2・4週)(初) 森(第1・3・5週) 安井(第2・4週)(初) | 渡邊(初) | |
| 放射線診断科 | 稲葉(初) 村田 | 今峰 | 稲葉(初) 山浦 | 佐藤 | 稲葉 加藤(弥) | |
| 放射線治療科 | 古平(初) 立花(再) 小出(再) | 古平(再) 立花(初) 小出(再) 橋本(再) | 古平(再) 立花(再) 橋本(初) 小出(再) | 古平(再) 小出(初) 橋本(再) | 立花(初) 小出(初) 橋本(初) | |
| 精神腫瘍科 | 小森(康永)(予約のみ) | 小森(康永)(予約のみ) | 小森(康永)(予約のみ) | 小森(康永)(予約のみ) | 小森(康永)(予約のみ) | |
| 緩和ケア科 | 下山 | 下山 | 下山 | 下山 | 下山 | |
| ペインクリニック | | | 木村<午後>(非) | | | |
| 遺伝カウンセリング | 井本 | 井本 | 井本 | 井本 | 井本 | |
| がんゲノム外来 | 衣斐 | | 衣斐 | | | |
| ※現在は、当院受診中の患者さんのみ受け付けております。 | | | | | | |
| 糖尿病外来 | 細川<午後> | | | 細川<午後> | | |
| 腎臓内科 | | | | 担当医<午後> | | |
| 皮膚科 | | 森 | 酒井(非) | 森 | | |
| 眼科 | | 立川<午前>(非) | | | 立川<午後>(非) | |
| リンパ浮腫 | | 鍋谷<午前> | | 藤岡<午前> | | |
| ※再診予約制：診察券をお持ちの方は、診察予約をしてください。052-764-2911 (直通) 午前9時～午後5時(土・日・祝・年末年始を除く) ※セカンドオピニオン外来は、全科に対応しています。(完全予約制・自由診療) | | | | | | |


★公共交通機関のご案内

- 地下鉄利用 名城線「自由ヶ丘駅」2番出口から徒歩7分
- 市バス利用 基幹2系統・星丘11系統「千種台中学校」下車徒歩3分

★車でのアクセスのご案内

- 一般道路 本山交差点から北へ約7分、平和公園の北西
- 高速道路 東名高速道路「名古屋IC」から西へ約15分
名古屋高速「四谷出口」から北へ約10分





愛知県がんセンター 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号 TEL052-762-6111(代)

第88号 2024年5月発行

ホームページ: <https://cancer-c.pref.aichi.jp>

編集: 運用部 経営戦略課 企画・経営グループ

「がんセンターNEWS」に関するご意見・ご感想はmail:kohonews@aichi-cc.jpまたはfax: 052-764-2963にてお寄せください。

なお、個別の返答は致しかねますので予めご了承ください。

